

No.593

2024.2.19

KINZOKU DANCHI NEWS Since1974

金属団地ニュース

60th



令和6年能登半島地震災害義援金について

被災地・被災者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

この度、令和6年能登半島地震災害において、犠牲となられた方々に心よりお悔み申し上げるとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。そして被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

被災者の皆様と被災地の復興にお役立ていただくための災害義援金を届けさせていただきます。

令和6年1月16日

岐阜県金属工業団地協同組合

代表理事 鈴木純一

令和6年1月1日に発生した能登地方を震源とする地震で、被災された方々を支援するため、1月16日に鈴木理事長のメッセージとともに各務原市福祉政策課を通じて日本赤十字社に50万円の寄付をおこないました。



南宮大社初詣（私が初参加した理由）

1月9日（火）に南宮大社初詣が開催されました。コロナ禍のため実に4年ぶり。このインターバルが影響したのか例年より少ない12名の参加者でした。気持ちの良い晴天の下、金属団地組合と組合員各社の商売繁盛、従業員とその家族の安全と健康を祈願してまいりました。

神官より頒布いただいたお札は、組合員各社にお配りいたしました。

しかしなんと！私が神道、神事の本を読みかじったところによりますと、お札はあくまで祭る当人が神社まで足を運び、自分で頒布していただいて自分の手で神棚にお祭りしないと意味がない、という衝撃的な事が書かれておりました！（※） それを読んでしまったこともあり、これは行かねばと今回初めて参加させて頂きました。早速お札を神棚にこの手でお祭りし、毎日拝んでいるところです。今回ご参加が叶わなかった皆様もぜひ来年こそは、今年一年のお礼参りということでも構いませんので、一人でも多くの方にご参加いただきたいと思います。



今回はマイクロバスで国道21号から赤い大鳥居をくぐっての参拝ルートでしたが、実は南宮大社の参道はもっと長く、中山道垂井宿に、国の指定重要文化財に指定されている石鳥居があります。大きくはありませんがなかなか立派な鳥居で、ここからが正式な参道となります。できれば来年はこの鳥居をくぐっての参拝ルートとして頂きたいと期待しています。マイクロバスであればなんとか通行可能ですが・・・でも来年は参加者が増えてきっと大型バスになってしまうことでしょう。

※ お札の御利益については諸説あります。

新年互礼会

1月9日（火）11時30分より組合研修センター 3階集会室にて新年互礼会がおこなわれ、元日に発生した能登半島地震で被害に遭われた方々に黙とうを捧げた後、手力雄神社宮司浅野義一様による神事が執り行われました。その後は祝宴に移り年始の挨拶を交わし懇親を深めました。会の途中には金属団地関係者及びご来賓の方で当たり年の方に鈴木理事長より記念品が贈呈されました。

震災や羽田空港での衝突事故と相次ぐニュースで不安な年明けとなりましたが、みなさまにとってこの一年が明るいものになるよう祈願いたします。





鈴木理事長の挨拶



衆議院議員武藤容治様のご祝辞



各務原市長浅野健司様のご祝辞



司会の小栗労務委員長



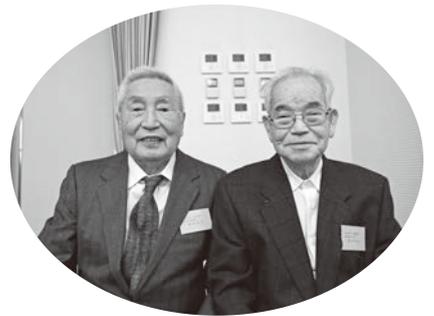
各務原商工会議所会頭
北角浩一様による乾杯



商工組合中央金庫岐阜支店長
蓬田悠様による中締め

▼辰年生まれの記念品贈呈







ホワイト企業認定と第10回ホワイト企業アワード 「理念共有部門」受賞に寄せて

丸嘉工業株式会社 土田 雄一郎

2020年10月に社長に就任した際、この団地ニュースにも掲載された社長就任の挨拶文(団地ニュース554号)で、2030年までに実現したい4つの夢(ビジョン)についてお話ししました。1つ目は売上高100億円企業。2つ目はショールーム化。3つ目は自働化工場。そして4つ目がこのホワイト企業認定です。昨年、丸嘉工業は最高ランクのプラチナ「ホワイト企業認定」を取得し、2023年において一番注目すべきホワイト企業として選ばれました。その中でも、「理念共有部門」において受賞し、企業が掲げる組織の価値観やビジョンなどの重要な理念を共有し、従業員のエンゲージメント向上に努めている企業として評価されました。この受賞は、ホワイト企業として認定された企業から応募された200社以上の中から選ばれる16社の一つであり、岐阜県下では初の快挙となりました。この栄誉ある受賞に際し、寄稿の機会をいただき、ホワイト企業認定についてご紹介いたします。



1. そもそも「ホワイト企業認定」とは？

「ホワイト企業認定」は一般財団法人 日本次世代企業普及機構(通称：ホワイト財団)が、「次世代に残すべき素晴らしい企業」を発見し、その取り組みを評価・表彰する制度です。「ホワイト企業」と聞くと、いわゆる世間で言われている「ブラック企業ではない企業」という印象を受けますが、そうではなく「家族に入社を勧めたい次世代に残していきたい」企業を指します。経済産業省が認定する「健康経営優良法人」と類似していますが、これをとても難しくしたイメージです。ホワイト企業とは、以下の3つの要素を併せ持つ企業とされています。

- (1) 長期にわたって健全な経営を続けられる優れたビジネスを行う企業
- (2) 従業員が安心して働き続けられるため優れた社内統治を行う企業
- (3) 時代のニーズに合わせた従業員の働きがい(エンゲージメント)を高く保つ企業

この認定は、企業のホワイト化に向けて取り組むべき7つの項目に対して各10の設問が設定され、その実施内容に基づき点数が与えられ、シルバー、ゴールド、プラチナのランクに分類されます。

2. ホワイト企業認定の取得までにやったこと???

ホワイト企業認定をビジョンにまで掲げた動機は、単純に「丸嘉工業に入って良かったな」と従業員に感じてもらいたかったからです。「良かったな」は単に給料が良いだとか、休日が多いだとかの「外発的動機」ではなく、毎日会社に来ることが嬉しい！と感じるような「内発的動機」が欠かせないと考えました。従業員が年間の25%を占める勤務時間を、辛い、苦しい、愉しくないと感じては、雇用している側としてもとても悲しい。だから、明るく楽しい会社づくりをするために、従業員の皆さんにも分かりやすく、目指せるものとして「ホワイト企業認定」が最適だと思い、ビジョンに掲げたのです。

では、この「ホワイト企業認定」に向けて何か企業の大改革をしたかというそれはNOですし、筆者が号令をかけて、「何が何でも取るんだ！」とトップダウンでやったかというこれもNOです。社長ができることなんて僅かなものです。「ホワイト企業認定」に向けて社内から従業員を選出し「ホワイト企業認定委員会」を作り、従業員の皆さんが小さなことからコツコツとやってきた成果で、従業員の皆さんに感謝です。強いて挙げるなら経営計画書と丸嘉手帳(クレド)の作成と全従業員に配布、社長メッセージの動画配信、従業員満足度アンケートの実施とフィードバック、新入社員研修の充実、時代に合わせて制度や規定の見直しなどが評価され受賞に繋がりました。ただこれで終わりではなく、まだまだ道半ばです。

他にも伝えたいことはたくさんありますが、文字数の制限でこのあたりで終わりです。詳しくお聞きになりたい方は、直接お声がけください！ありがとうございました！



青年部コーナー

新年互礼会開催

1月9日(火)におこなわれました金属団地新年互礼会に青年部会員も多数参加し、来賓・親組合の方々と新年のご挨拶やお話をしました。本年も青年部活動へのご理解ご協力の程よろしくお願いします。



青年部新年会

1月26日(金)、名鉄岐阜駅から歩いて数分、つつい通り過ぎてしまうような佇まいのジンギスカン専門店いまじんにて新年会を開催しました。真っ赤な暖簾をくぐり、すこし席は狭かったですがおいしいジンギスカンをいただきました。

会員同士の結束を深め気分も新たに今年もこのメンバーで青年部を盛り上げていきたいと思えます。また青年部では随時メンバーを募集しています、仕事面やプライベートまた親組合との繋がりをもつことで所属する意義を感じていただけたらと思います。団地企業にお勤めで45歳までの経営者・次期経営者層と条件はありますが、青年部に関して気になることがございましたら組合 上村までお気軽にお問い合わせください。





VRが流行らない

(以下は、私見であることをお断りしておきます。)

我々が属する製造業において、データの3次元化は急速進行中です。しかし、おなじ3次元コンセプトでも仮想現実(VR)は、いまいちなのではないでしょうか？

VR大衆化の歴史は意外と古いです。時を遡ること約30年、任天堂より1995年に「バーチャルボーイ」なるVRゲーム機が華々しくデビューしました。しかし、世界的ヒットメーカー「Nintendo」の力をもってしても「早すぎたんだ！」等と形容される辺り、世の中への浸透は芳しくなかった模様です。才ある方は焦りすぎるのか、‘顔本’の天才開発者・ザッカーバーグ氏を以ってしても、ダサイアバターで大いに物議を呼んだのは記憶に新しい所です。(その後、超リアルな自モデルをリベンジ発表するあたりは面目躍如なのですが、極端から極端に走るのは、米国人の性質なのではないでしょうか？【苦笑】)

皮肉なもので、技術・ビジュアル的なVRはいまいちですが、コンセプト的には「VR‘仮想’+‘現実」盛り上がりを見せています。

先日たまたま、子供向けアニメを目にする機会がありました。いまやアニメという仮想話の中でも、更にバーチャルな存在が主人公となる時代です。少し解説をしますと、当該アニメは、いわゆるバトルもの(主人公チーム v.s. 敵)ですが、舞台がオンラインゲームであります。ゲームにログインしているアバター(筋骨隆々のマッチョマンや、うさぎの魔法使い)が‘主’人公そのものとして描かれ、‘従’として実プレイヤーであるところの子供達の生活が描かれるという体でした。

また、近年では「なろう系小説」が人気だとも聞き及びます。(異世界転生ものやチートものなど、独特な世界観を楽しめる作品が多いです。小説家になろうでは、月間25億PV以上の閲覧数を誇り、作品数は100万以上、登録者数は240万人以上となっています。出展：wikipedia)

今現在自分自身が抱えている「肉体」と「こころ」をはなれた、バーチャルが故に美しく無謬な存在を主人公として推すということは、時代の流れを感じさせる所です。しかしながら、リアリズム文化にももう少し頑張ってもらいたい所です。

話は戻りますが、技術・ビジュアル的なVRがいまいちな理由は、やはりVR特有のゴーグルや配線が煩わしい(=心地よくない)という点は大きいかと思えます。一方で「心地よさ、美さ、無謬さ」を押し出すコンセプト的なVRが隆盛を見せているのは皮肉なことです。

バーチャルでイケてる存在になる為に、現実では無骨なゴーグルを装着せねばならないのはいかなものかと思われまます。しかしこうした認識も圧倒的な広告量でイメージそのものを変えられるApple社の参入で変わってくるかもしれません。

社業においても、これからの時代には、何かの変革や改善には、「心地よさ」と(良い意味での)「儘ならぬ現実」そしてその捉え方のバランスを再考していく必要があるかと思えます。

尤もらしいオチで締めたつもりが、その実、VRをディスリただけじゃないのか？とご指摘のあなた、そんな事はありません。私もVRテクノロジーに期待する度合いや、あなたに志を同じくしています。それが証拠に、皆様のご家庭の押し入れに一個は転がっていませんか、ダンボール3DゴーグルやD○M社謹製ゴーグルが？我が家にはあります。

マルフ



閉店

(有)飯尾工業所 飯尾 竜一

休日をどう過ごしていますかと問われると、妻とドライブをし、帰りにスーパーで買い出し、帰宅後趣味の時間と、ごく平凡な過ごし方で特に書くことがないので、趣味について書くことにします。私の趣味はジャズトランペットです。高校の時ブラスバンド部に入り唯一名前を知っているトランペットを選んだのがきっかけです。その後四十数年、趣味の相棒になりました。音感、リズム感なしの私は、とりあえずレコードでも買ってみるかと、トランペットがジャケットの「スタディインブラウン」と言うレコードを買って聞いてみました。1956年録音の古いレコードです。「なんか、わからんけど、かっこいいなー」聞けば聞くほど夢中になり「こういう風にラッパ吹きたいなー」と思い。合奏そっちのけでレコードの真似をして、いつも先生に叱られ、とうとう三年生のときクビになってしまいました。(自由に吹くのがジャズと思っていたため大きな音で、めちゃくちゃ吹いていた)でも、あのレコードのように吹きたいという思いは消えず、友人と新岐阜裏のジャズ喫茶のライブをよく聞きに行っていました。(お金がなかったので外で聞いていた)

その頃の岐阜はキャバレーが多く有り優秀なバンドマンがいて演奏もレコードそのもので自分も「この人達とやりたいなー」と思い始めました。そんな中ジャズ喫茶で知り合った仲間ができ、バンドを組む事になりました。音感、リズム感なしの私は当然、ついていけません。友人に「誰かに習った方がいいよ」と言われ、岐阜でライブ活動をしていたサクソ奏者の方に習うことにしました。腕前は東京のプレイヤー顔負けだと思っています。一芸を極められた人でしたので、音楽以外もとても厳しく、人生の修行もさせていただき十年以上習いましたがクビになりました。人生2度目のクビです。

結婚し、仕事、子育てと思うように時間を作る事が難しくなり、音楽とも少し距離を置くことになりましたが、友人のライブを見に行き、時々飛び入り演奏させてもらっていました。

子供達も巣立ち、「あのレコードのように吹きたいなー」と再び思い、昔から憧れの岐阜のジャズ界の神様の存在のトランペット奏者の方に習うことにしました。先生の紹介で、各務原のビックバンドに入れてもらい、またバンド活動再開です。

先生が体調を崩され、ピンチヒッターとしてライブにも出ることになりました。足を引っ張るばかりでしたが、メンバーの方々の指導により続けることが出来ました。コロナ後、訳あって続ける事が出来なくなりました。

そんな中、いつもお世話になっているライブハウスが今年3月で閉店とお聞きし、淋しいかぎりです。閉店までにバンドメンバーと演奏出来たら幸いです。

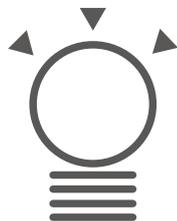
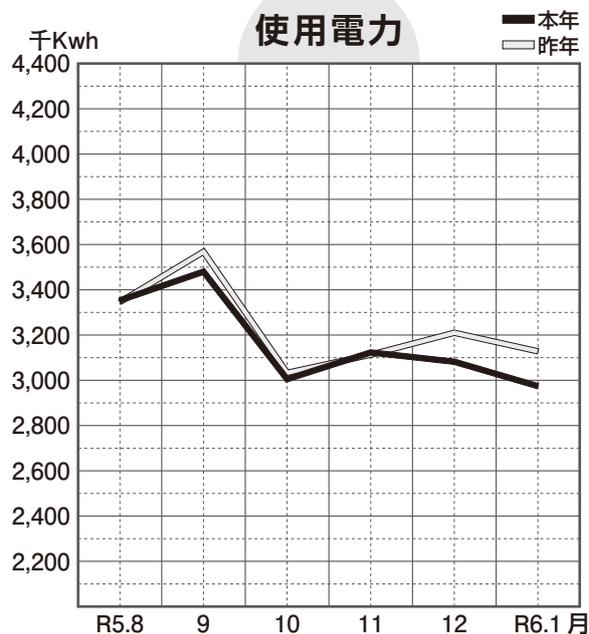
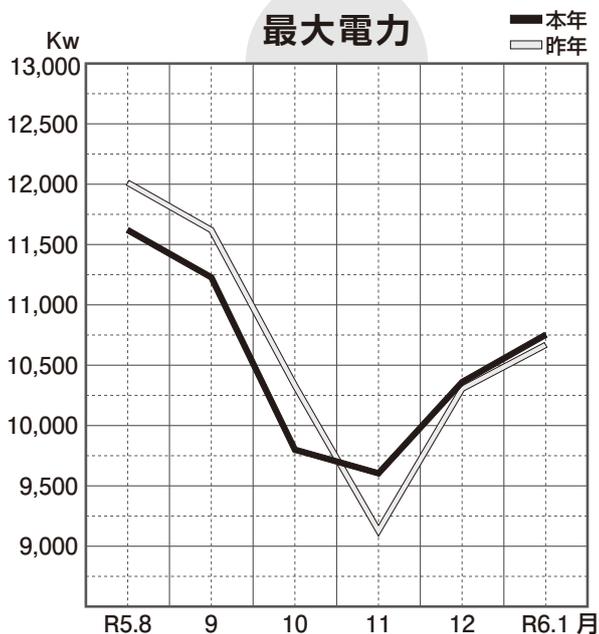
ライブハウス「アフターダーク」のママさん、長い間お疲れ様でした。そしてありがとうございました。





お知らせ

令和6年1月分電力使用状況



電気は正しく使いましょう!!

通電火災にご注意を!!

通電火災とは、地震、台風等の自然災害の影響により、停電から電気が復旧することによって発生する火災の事を指します。

火災に至る経緯は以下のようなものがあります。

- ・電気ストーブ、アイロン等の電気機器の電源が入った状態で、再通電することで接していた可燃物を加熱し出火
- ・電線、引込線、屋内配線が損傷した状態で、再通電することで短絡、地絡(漏電)が引き起され、火花が発生し出火
- ・分電盤、家電等の電気機器の基盤が水に濡れた状態で通電することで、短絡やトラッキングが発生し出火

通電火災を起こさないためには、再通電する前に周囲に燃えやすいものがないか確認しましょう。また、電気機器本体や電線に異常があれば使用しないようにしましょう。

このように、通電火災のメカニズムを理解し適切な対策を講じる事で、未然に通電火災を防いでいくことが重要です。

行事予定

2024 **2** February

16 金	
17 土	『組合休日』
18 日	
19 月	月例会(12:00~) 役員会(13:30~)
20 火	
21 水	共同住宅跡地等検討委員会
22 木	
23 金	『天皇誕生日』
24 土	団地G 『組合休日』
25 日	
26 月	
27 火	編集委員会
28 水	
29 木	

2024 **3** March

1 金	
2 土	『組合休日』
3 日	
4 月	
5 火	正副理事長会議
6 水	コミュニケーション研修
7 木	
8 金	
9 土	『組合休日』
10 日	
11 月	
12 火	
13 水	消防訓練
14 木	
15 金	

■ 3月の行事予定

3月16日☎~17日 青年部親睦旅行
3月18日☎ 月例会・役員会

■ 1月度金属団地ゴルフ会

1月27日☎ 岐阜カンツリー倶楽部
優勝 林 宏守(中日鋼線) 2位 山村容弘(山村製作所) 3位 宮永恒治(ミヤナガ)



G-MECCA

Gifu Metal Engineering Community Cooperative Association

<http://www.g-mecca.jp>

